

第57回 草津市美術展覧会

出陳目録

第49回滋賀県芸術文化祭参加事業

● 会 期 ●

令和元年**10月5日(土)～10月13日(日) 9:00～16:30**
(最終日のみ 16:00まで)

● 会 場 ●

草津市役所2階特大会議室(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)

● 主 催 ●

草津市・草津市教育委員会

【出品状況】

部門	一般出品数	入選数	特別出陳	総陳列数
日本画	15	15	6	21
洋画	71	71	14	85
彫刻	9	9	6	15
工芸	17	17	10	27
書	33	33	14	47
写真	77	77	9	86
合計	222	222	59	281

※特別出陳・・・審査員、出品委嘱者、市展委員、無鑑査資格者

【審査員】（敬称略）

日本画	河 村 源 三
洋画	山 根 須 磨 子
彫刻	土 田 隆 生
工芸	谷 野 明 夫
書	山 本 清 一
写真	川 岸 じ ろ う

【表彰式】 令和元年10月13日（日）

13:30 ～

草津市役所 8階 大会議室

【批評会】 令和元年10月13日（日）

14:30 ～

草津市役所 2階 特大会議室 各展示場

【後 援】（順不同）

朝日新聞大津総局・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局
 産経新聞社・中日新聞社・京都新聞・NHK大津放送局・KBS京都
 BBCびわ湖放送・株式会社えふえむ草津・草津市教育会・草津商工会議所
 草津ライオンズクラブ・草津ロータリークラブ・草津美術協会
 草津市21世紀文化芸術推進協議会・草津市国際交流協会

市展賞

日本画



《ささやける花たち》
丸山有子

工芸



《HeeL》
北川恵美子

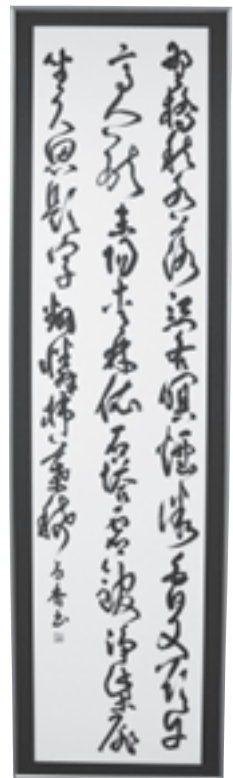
洋画



《遊びの時間》
木村順一

書

《劉崧詩》
本坊昌代（芳香）

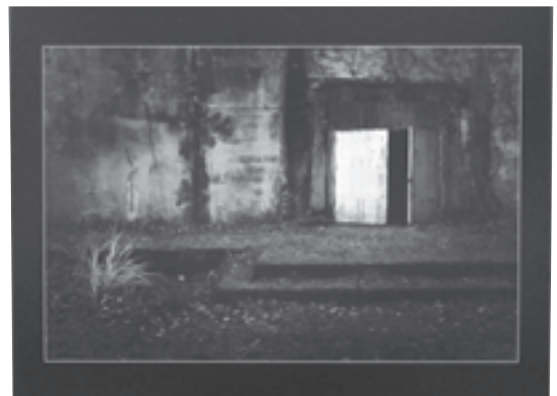


彫刻



《癡愚（おろか）》
三原敏夫

写真



《Door to the past (過去への扉)》
山田つとむ

日本画

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1	無鑑査	どくだみ	野村 政子	
2	無鑑査	酔芙蓉	青井 恵子	
3	無鑑査	八丈赤鯉	大橋 靖子	
4	市展委員	熟す	稲岡 仁彦	
5	審査員	星月夜	河村 源三	
6	市展委員	湖を観る	早川 裕子	
7		石楠花	太田 由紀子	
8	佳作	月下の一群	富田 浩	
9	佳作	湖映	後藤 寛治	
10	市展賞	ささやける花たち	丸山 有子	
11	特選	雪の嵐山	中川 きよ美	
12	特選（草津市教育長賞）	雨の日の思い出	西野 薫	
13		佇む	鵜飼 深雪	
14		ササヤキグサ	上田 美智子	
15		夏の日	前田 澄子	
16		Tweet（つぶやき）	瀬尾 節子	
17	佳作	夏の調	扇 里砂子	
18	特選（読売新聞社賞）	教習所のある日	山口 正男	
19		夏の朝	岡村 恵子	
20		生命力	草川 京子	
21		竜門突破	矢原 功	

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

洋画

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1	佳作	妖怪の宴会	横田 隆子	
2	特選（KBS京都賞）	四季	大西 隆夫	
3		色と光と音のsymphony	三浦 武弘	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
4		伏見 弁財天	江崎 啓子	
5		駄菓子屋	小倉 未柳	
6	特選（草津市教育会会長賞）	夏の三人娘（Ⅱ）	馬淵 忠夫	
7	佳作	気配	石橋 国夫	
8		穏やかな街	柴田 みどり	
9	特選（えふえむ草津賞）	ラスト ラン	福原 光子	
10	佳作	sora 異空間	岸田 章弓乃	
11		風	岡田 智美	
12	無鑑査	景	木下 進	
13	無鑑査	一隅（黒壁ガラス館）	山元 敏子	
14	市展委員	菜の花	田中 孝	
15	市展委員	花	小山 万亀子	
16	無鑑査	湖北の乾燥倉	樫原 喜六	
17	出品委嘱	遠き日（エスキース）	岡島 春美	
18	審査員	光彩の溢るる中で	山根 須磨子	
19	出品委嘱	手風琴の人	福井 重男	
20	出品委嘱	トレード 眺望	新庄 拳吾	
21	無鑑査	朝	植村 博志	
22	無鑑査	まどろむ	吉川 敦子	
23	無鑑査	雨季	中村 悦子	
24	無鑑査	秋のおとずれ	望月 通代	
25	無鑑査	風かおる	和田 さち子	
26		一服	釜我 博康	
27	佳作	網ほうずき	山井 喜久江	
28		時移りて	中西 利夫	
29	佳作	蟹	浜浦 敦子	
30		屋久島の大樹	西嶋 せつ子	

※題名、氏名、雅号については、常用漢字を使用しております。御了承ください。

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
31		ハーバー	田中 紀男	
32	市展賞	遊びの時間	木村 順一	
33	特選（草津ロータリークラブ会長賞）	装い	酒井 寿美子	
34		静寂・百済寺	中村 和夫	
35		聖観音菩薩	植村 信行	
36		彼方への想い	畠中 博	
37		入梅の階段	伏木 章雄	
38		秋の日	加藤 房江	
39		夕日	吉田 安今巳	
40	佳作	虹のかけ橋	佐々木 豊	
41		夏のプロフィール	溝辺 行雄	
42		湖岸の雑木	山岡 和子	
43		一隅	野口 俊子	
44	特選	ただいま	中村 文乃	
45	佳作	赤いパブ	山本 博子	
46		枯蓮	大森 治	
47		Logs－再生－	福原 和人	
48	佳作	樹心	川端 美知子	
49		じいちゃんのトラクター	高山 幸子	
50	佳作	G r o s a r b r e	森 邦博	
51		情調の刻	野田 嘉郎	
52	佳作	水鏡	安藤 敏雄	
53		湖畔	四方 勉	
54	特選（毎日新聞社賞）	栄枯の夢城	河合 千恵子	
55	特選（草津市21世紀文化芸術推進協議会会長賞）	奥永源寺の溪流	三ッ國 照雄	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
56		川辺に住む	伊藤 マリー	
57		ある夏の日	井上 政憲	
58		青葉薫る平湯大滝	谷嶋 昭代	
59	佳作	ワルツが聞こえるおくどさん	村上 陽子	
60	佳作	近江 棚田の女	森岡 武司	
61		伊庭の水辺（東近江市）	戸田 廣子	
62		曼珠沙華	小林 和子	
63		広場の木	小山 淑恵	
64		リュウベック	三上 幸子	
65		立木神社	中島 崇	
66		初夏	山本 遥	
67		アンパンマンと遊ぶ	湯ノ口 敏雄	
68		桔梗寺にて	森 綾子	
69		笑顔	中井 忠男	
70		時の風景	中野 幸子	
71		幻	礒田 洋三	
72		榕樹（スポアン）の根の遺跡	藤井 康彦	
73		老健の松	河瀬 晃四郎	
74		大津港	中川 きよ美	
75		捕鯨	佐藤 裕	
76		我が銀河系	國松 秀雄	
77	佳作	ひまわり	佐本 三重子	
78		水辺のほとり	林家 清子	
79		器のハーモニー	増山 恵子	
80		真夏の日常	高田 信	
81		ヨットハーバー	正木 俊行	
82		散髪	山田 ひで子	
83		木漏れ日	野崎 かおる	
84		モザイク	西村 征一郎	
85		凍星を眺むる花子	高野 裕子	

彫刻

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1	市展委員	東洋のミューズⅢ～水面の月によせて～	伊庭 靖二	
2		にらめっこ	渡辺 紘	
3	市展賞	癡愚（おろか）	三原 敏夫	
4		地藏尊	北川 良一	
5	出品委嘱	天女	笹山 幸徳	
6	市展委員	折れない心	石田 秋次	
7	佳作	奇跡の人（れん）	高野 裕子	
8	審査員	青の彼方へ	土田 隆生	
9	出品委嘱	式歌	西村 王允	
10		釈迦如来座像	駒井 政孝	
11		Sora・祈り	岸田 章弓乃	
12	佳作	遊び時間	木村 順一	
13	特選	Never stop challenging	モリ・ミチ	
14	特選（中日新聞社賞）	朝鮮通信使ご一行	安井 豊作	
15	無鑑査	想	伊庭 照実	

工芸

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1	無鑑査	コーヒータイム	宇野 禮子	
2	市展委員	生	三原 サダ子	
3	市展委員	華	奥河 基子	
4	無鑑査	普く	下川 まち子	
5	出品委嘱	ひじり橋	井隼 慶人	
6	特選（草津美術協会会長賞）	香煙器 いにしえの薫り	末岡 京子	
7	出品委嘱	冬華	高橋 政男	
8	出品委嘱	ピラミットのある静物	宮崎 芳郎	
9	審査員	堆白三角点々文黒釉鉢	谷野 明夫	
10		八手	武田 黎子	
11	無鑑査	道端の一輪	中野 信行	
12	特選（産経新聞社賞）	流動	森貞 豊子	
13	佳作	夏が来る	望月 富美子	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
14	無鑑査	遊マンボ	江川 勝子	
15	市展賞	Hee L	北川 恵美子	
16		解かれし封印	池畑 恵一	
17		将来ヲ願ウ壺	森井 柊希	
18		化け物	奥田 創太	
19	佳作	風林火山	田谷 大喜	
20		炎の化身	望月 眞寸男	
21		裂	中野 和彦	
22		雅	峠岡 義博	
23		Combined vase	石黒 丈雄	
24		窯変焼締め壺	寺西 健二	
25	特選	彩泥百合文花器	豊田 京子	
26	佳作	漆黒ノ華	田中 瑠星	
27		花活け	望月 公司	

書

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1		三餘	奥平 成明	
2	佳作	雍陶詩	吉川 幸子	幸子
3	特選（草津ライオンズクラブ会長賞）	君まつと	三浦 久美子	清舟
4	市展賞	劉崧詩	本坊 昌代	芳香
5	特選（朝日新聞社賞）	李白詩	小林 由喜枝	石径
6	佳作	李昌祺詩	久保 敦子	紫湖
7	佳作	郭奎詩	小山 貞子	
8	佳作	韋應物「答李澣」	奥村 守男	守峰
9	佳作	過臨江訪彭聳之	相宗 真理	真翠
10	佳作	王漁洋詩	田中 久美子	久華
11	特選（滋賀県芸術文化祭奨励賞）	王禕詩	岩田 恵子	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
12	特選	夜雨偕友人進舟雲門	田中 俊一	叡峰
13		趙介詩	目片 美千子	杏佳
14		王漁洋詩	寺嶋 由美子	夢実
15	佳作	丘濬詩	安田 きよ子	清子
16		万葉集の歌	辻 美子	
17		林文詩	倉崎 富司	鳴泉
18		雑詩（其四）	馬場 愛子	愛雲
19	無鑑査	気淑風和	小倉 緑	翠苑
20	無鑑査	蘇軾詩	小野澤 絹代	蕙湖
21	無鑑査	人生上手	米村 絹代	玄秋
22	市展委員	漢句	中村 徹	徹堂
23	市展委員	朋	今居 潤子	青桃
24	出品委嘱	無礙	岡田 優三	祖翠
25	審査員	清修如野鶴	山本 清一	南竹
26	出品委嘱	林庭瀟灑	岡本 了壽	藍石
27	出品委嘱	彩霞環繞蓬萊島	松宮 忠夫	橘邨
28	市展委員	空海の詩句	及川 淳子	青湖
29	無鑑査	幽禽雨中	中島 弘子	翠湖
30	無鑑査	五言絶句	中村 清美	清婉
31	無鑑査	文質彬々	中西 長雄	長安
32	無鑑査	潘曾瑩詩	徳地 比佐美	湖咲
33		滕克恭詩	金子 美由紀	
34		日暮進帆富春山	長谷川 久枝	桂園
35		史鑑詩	太田 恵里佳	
36		劉崧詩	鵜飼 千代子	紀香
37		虞謙詩	澤井 富江	富蕙
38		頼山陽	高野 裕子	翠光
39		蘇氏別業	目片 千代子	丹楓
40		島崎藤村の詩	近澤 桂子	
41		魯淵詩	渡辺 嘉奈子	嘉香

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
42		朱衡詩	園 滋	滋
43		山頭火の詩	金澤 洋子	素心
44		雍陶詩	千賀 美奈子	美奈子
45		無礙	多田 功一	翠功
46		雍陶詩	杉山 瞳	瞳
47		漢詩句	古田 みちよ	

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

写真

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1		岩上の生命力	安東 晋司	
2		列	久島 正博	
3		ひと休み	本田 昭夫	
4		払暁彩色	川合 潔	
5		晩秋の鯖街道	林 富士雄	
6	特選（BBC びわ湖放送賞）	宵宮	山本 照夫	
7		シャワーカーテン	園田 みちゑ	
8		参詣	倉田 幸雄	
9		もの想う	小野田 研也	
10		池畔の秋景	吉田 利男	
11		誰を待つ？	田中 康明	
12		雑草に負けず	野村 昭夫	
13		里山朝景	西谷 國雄	
14		移り行く季節の中で	赤枝 進	
15	佳作	残り柿	和田 義孝	
16	出品委嘱	沖島休漁日（琵琶湖）	西岡 伸太	
17	出品委嘱	記憶の風景	井上 秀昭	
18	審査員	万燈会（四天王寺）	川岸 じろう	
19		たわむれて	横川 栄仁	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
20	特選	池畔	奥村 健司	
21		陽光	田中 順子	
22	市展賞	Door to the past (過去への扉)	山田 つとむ	
23		命をつなぐ	植田 信子	
24	特選 (NHK 大津放送局長賞)	寒い日	森 保	
25		梅雨晴れ	中川 文二郎	
26		精霊送り	田中 忠太郎	
27	特選 (草津市国際交流協会会長賞)	Broken window	北垣 節子	
28	佳作	ちびっこ探偵	山田 幸子	
29		見つめられて	黄瀬 三朗	
30		餌に釣られて	渡辺 昌克	
31	特選 (草津市議会議長賞)	夜明け前	山本 清	
32		涼溪	北山 忠	
33		美を競う	福井 斉	
34		ラクダ行く	青木 宏樹	
35	無鑑査	新鮮ぐみ	木村 正司	
36	無鑑査	ハプニング	二宮 紀彦	
37	無鑑査	目覚の刻	山本 敏夫	
38	無鑑査	傘寿健やか	石田 多恵子	
39		静寂	赤井 春雄	
40		エレガント	今野 俊和	
41		接近注意	吉村 英光	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
42	佳作	しののめ	杉立 好正	
43		プレリュード	西村 久	
44		薄暮	詫間 秀夫	
45		天使の休日	寺尾 幹男	
46		好奇心	藤堂 裕子	
47		木陰	篁 勝次	
48		表出	福島 正則	
49		月光	矢野 暢英	
50		堀を行く	川端 清志	
51	佳作	厳寒の朝	西村 幹夫	
52	市展委員	奇相	高谷 禮子	
53	市展委員	梅雨時	山元 國一	
54		夜明け	原 慎一郎	
55		清浄	濱村 昌義	
56		光景	丸田 良則	
57	佳作	釣り人	寺田 裕彦	
58		蒼の軌跡	池田 秀彦	
59	佳作	内緒のはなし	臼井 充子	
60		休漁日	橋詰 辰夫	
61		幸せ満開	木村 孝一	
62	特選 (草津商工会議所会頭賞)	黄金の海	寺田 吉廣	
63		滑稽な花火	瀬戸口 初男	
64	佳作	茜色のシルエット	佐々野 京子	
65		乱舞する火の粉の中で	仲野 隆	
66		夕照の刻	前田 鉄矢	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
67		交差点と虹	宮嶋 康明	
68		琵琶湖の朝焼け	立花 明敏	
69	特選（京都新聞社賞）	光の中で	西岡 信夫	
70		昭和の残像	松村 里子	
71		風渡る湖上	藤田 文子	
72		たそがれ	河野 一友	
73		一心不乱	中野 一雄	
74	佳作	まちやの風情	長谷川せつ子	
75		折伏	高尾 稔	
76		祈り	樋口 浩司	
77		朱の群生	猪飼 健司	
78		亀の源次郎	藤崎 真穂	
79		思春期	大西 峰代	
80		光が奏でるハーモニー	岡部 昭広	
81		風の技！	氷見 善信	
82		夏の終わり	山口 尚孝	
83		夜桜彩心	伊吹 達郎	
84		歳月を経て	西川 美恵	
85		ランブシェード	常石 由美子	
86		網代	林 文信	

日本画

(審査員) 河 村 源 三

○総評

作品は個人のメッセージです。何に感動をして描いているのかが最も大切です。日本画絵具の扱い方、写実と装飾性、いろいろ考えて描かれていますが、より以上に新感覚をもって挑戦していただければと考えます。

○市展賞

「ささやける花たち」 丸山 有子

淡い色彩の中に自然のうつろいが美しいリズムを奏でている。空間美と余白が大変心地よい作品となっており、豊かな心象すら感じる素晴らしい出来上がりです。いくしみを感じさせる完成度がすばらしい。

○特選

「雪の嵐山」 中川 きよ美

受賞作品の中でも、秀逸な水墨画となっています。独自の自然観で描かれており、東洋の美とは何かを考えさせられる出来栄えに仕上がっている。その美意識の高さに惹かれ、漂泊の世界が流れているところが良いと思います。

○特選（草津市教育長賞）

「雨の日の思い出」 西野 薫

まず、しっとりとした画面の中に日本画独特の詩情があり、その空気感が美しい。作品の中に最も大事な作者が存在しており、心が浄化されてゆく気持ちになっていくのが魅力的である。

○特選（読売新聞社賞）

「教習所のある日」 山口 正男

新鮮な視点からの発想が良い。多様化する価値観、新しい日本画の方向性を探して表現しているところがいいと思います。益々、自由な創意で作品に向かっていただきたいと考え、次作も大いに期待できる方向性を示しています。

洋画

(審査員) 山 根 須 磨 子

○総評

今年は応募点数も10点増え、バラエティに富んだ力作が数多く集まりました。類型的な作品も少なくなり、個性の出た作品が増え、審査に迷うほどでした。三年目の審査をさせていただきましたが、過去の出品作が脳裏によみがえり、研鑽の跡がうかがえる作品が数多くありました。さらなる草津市展の発展を期待いたします。

○市展賞

「遊びの時間」

木村 順一

時の経過を象徴的にまとめた作品です。セピア調の画面と、遠い記憶の中のトラックや家等をうまく配して、ノスタルジックで静謐な空間を演出しています。大きく描かれた時計がインパクトのある作品に仕上がりました。市展賞おめでとうございます。

○特選

「ただいま」

中村 文乃

大きく描かれた猫がとても印象的な作品です。猫と背景の描写の対比が素晴らしく、特に、細かく描かれた毛並みと、大きく見開かれた水晶のように透き通った瞳が、御主人の帰りを待ちくたびれていた猫の不意の一瞬をよくとらえています。新鮮な感覚の作風の中に猫への愛情と観察力が見えます。

○特選（草津市21世紀文化芸術推進協議会会長賞）「奥永源寺の溪流」 三ッ國 照雄

鉛筆、色鉛筆、コンテ、水彩等々さまざまな画材を用いて爽やかな木漏れ日を、卓越した描写力で表現できています。

淡い色調ですが、透き通った水の流れも思わず足を着けたくなります。大作ですが、丁寧な作業が目に残りました。

○特選（毎日新聞社賞）

「栄枯の夢城」

河合 千恵子

苔むした石垣に光が射している情景を素晴らしい描写力で描いています。個々の石の表情、木と草の表現等、どれを取っても力量のある作品だと思います。じっと眺めていますと、絵の中に佇む作者が感じられます。

○特選（草津市教育会会長賞）

「夏の三人娘（Ⅱ）」

馬淵 忠夫

一見、ピカソかマチスを連想させる描き方です。色彩感覚も素晴らしく、さらっと描かれた筆致の中に計算された構図と色彩の変化が見られます。人物の表情も魅力的で特に中央のキリッとしたヌードの女性のデッサンも的確にとられています。

○特選（KBS 京都賞）

「四季」

大西 隆夫

デザインの的でありながら遠近感と細かい描写力に心惹かれます。中心に不思議な黒い流れが画面を引き締めています。何気ない野原の中にさまざまな自然の変化を感じられる力強い作品となりました。下方の青い水も作品のアクセントとなっています。

○特選（草津ロータリークラブ会長賞）

「装い」

酒井 寿美子

昨年の作品以上に画面がまとまり日本の着物柄を用いながら洋風な構成になりました。落ち着いた色調で安心して観ていられますが、もう少し現代の感覚を取り入れられてはいかがでしょうか。

○特選（えふえむ草津賞）

「ラスト ラン」

福原 光子

2点合わせた変形のキャンパスですが、変形をうまく生かした構図となりました。競馬の情景を構成しながら馬を愛する気持ちが感じられます。いろいろなマチエールを工夫されていますが、画面を汚している所もあり、もう少しすっきりとした部分があれば全体がもっとシャレた画面になると思います。

彫刻

(審査員) 土 田 隆 生

○総評

一般出品は、昨年と同数の9点となりました。これは昨今の各市展の状況に比して、決して少なくなく、むしろ多い方かと思います。本年も良作揃いで入賞作は厳選となりました。本展の特長として、具象作品と抽象作品が程よく混じり、鑑賞者を楽しませる展覧になったことは大変良いことと思います。特別出陳の優作6点と合わせて、見ごたえのあるものとなりました。

○市展賞

「癡愚（おろか）」

三原 敏夫

人体の平面化というデフォルメ（変形）に取り組まれている氏の連作の一作かと思いますが、今回は元がボリュームの有りそうな姿態だけに、難しいワークに成りますが、見事に非ボリューム化に成功しています。この優作を観る人は、その“虚実皮膚^{カン}の間”の妙技の内に、精神的な関わりの上で人生を感じたり考えたりすることでしょう。

○特選

「Never stop challenging」

モリ・ミチ

モニュメント風の抽象作ですが、下部の黒土のヒビ割れと上部の削りの破れが素材の美しさと力強さを引き出している秀作です。蓄積された成形と焼きの確かな技術により、高い完成度がみられ、崇高さが表現されています。

○特選（中日新聞社賞）

「朝鮮通信使ご一行」

安井 豊作

個を人形化した表現により、とかくバラつく群像をまとまりのある一つの作品に仕上げています。同時に、ユーモラスな雰囲気も醸し出され、観る人に愛らしさと親近感を抱かせます。朝鮮人街道近くに住まわれている作者の郷土への想いを感じます。

工芸

(審査員) 谷 野 明 夫

○総評

今回、出品数が少し減り残念でしたが、個性的でレベルの高い作品が多く、楽しく見せていただきました。平面、立体作品もまず何を作りたいのか、その為に素材・技法・装飾等を選択しながらの制作になります。上手くいく時又そうでない時、その繰り返しだと思います。是非これからも色々なことにチャレンジし、楽しく制作していただければと思います。

○市展賞

「Hee L」

北川 恵美子

靴をうまくデフォルメした。ふっくらとユーモラスな造形と大きさを変えながら全面に彫った模様とのマッチングが大変うまくいった秀作だと思います。作者が作りたい作品が焼けたのではないかと思います。

○特選

「彩泥百合文花器」

豊田 京子

手びねりの黒土を使った花器で、百合の花の入れ方も前と裏とでバランスも良く、部分的な縞や青を吹いたりも効果的ですが、何より無釉の選択が良かったと思います。ただ造形としてはもう少し考える余地があるように思います。

○特選（草津美術協会会長賞）

「香煙器 いにしえの薫り」

末岡 京子

決して大きくは無い作品ですが、技法、素材感と形とがうまくいった例で、大変しまった作品に仕上がっています。作りたいものがあって、その為に何をすれば良いのか作者の方向性をはっきり表した作品だと思います。

○特選（産経新聞社賞）

「流動」

森貞 豊子

しぼり技法を繰り返し、青の濃淡や渦のパターン等の表現に作者の工夫が見られる作品です。もう少し流れに動きがあれば、さらに良かったと思います。

書

(審査員) 山 本 清 一

○総評

昨年より出品数が少し減少したのは残念ですが、作品内容は多様で充実していました。古典を基本としながら、それぞれが線を磨き表現意図を明確にした作品が賞候補となりました。紙質・筆の種類や大きさ・墨色などを工夫しながら作品制作に向かうことが重要です。次回にはさらなる出品点数の増加を願っております。

○市展賞

「劉崧詩」

本坊 昌代（芳香）

文字の大小の変化や墨量の変化が自然で、縦への流れが美しく充実した秀作です。行書草書の使い方がよく考えられ、リズムに乗った運筆が魅力です。

○特選

「夜雨偕友人進舟雲門」 田中 俊一（叡峰）

丁寧な筆運びと潤渇の変化で文字群をつくり、全体のバランスを良く考えて纏められている。縦への流れとともに左右の行の呼応も自然で安定感ある作品です。

○特選（滋賀県芸術文化祭奨励賞） 「王禕詩」

岩田 恵子

中国の明清時代の王鐸の連綿草を基調としながら伸びやかな線で一貫されている。行間もすっきりとし、縦への流れに優れた作品です。

○特選（朝日新聞社賞）

「李白詩」

小林 由喜枝（石径）

木簡・残紙・帛書を基に現代的な感覚で書線が運ばれている。鋭さやゆったりとした動き、明快な余白を意図した秀作です。

○特選（草津ライオンクラブ会長賞） 「君まっと」

三浦 久美子（清舟）

静かな書き出しから徐々に大きな動きへと自然に変化し、中央の山場から終結へと構成されている。大胆な筆致や渇筆が有効に使われ、纏まりがある作品です。

写真

(審査員) 川 岸 じ ろ う

○総評

今回初めて作品展を拝見いたしまして、皆さんのレベルの高さを感じました。

写真は表現力が大切であり、内容の濃い作品が上位に入りました。今回の作品の中でスナップ写真が少なかったと思います。写真は撮る楽しみ、製作する楽しみ、見せる楽しみがあります。この3点を大切に日常の写真活動に生かしてください。今後とも元気で楽しい写真ライフを満喫されることを願っております。

○市展賞 「Door to the past (過去への扉)」 山田 つとむ
白い扉が印象的に表現された作品です。開けてみたくなる感動が伝わってきます。プリントも良く心象的な表現が素晴らしい作品です。

○特選 「池畔」 奥村 健司
大きな草を大胆に切取った表現は、力強い作品となりました。画面構成も良く、コントラストも絶妙でカメラアングルも良かった。

○特選 (草津市議会議長賞) 「夜明け前」 山本 清
夜明け前のドラマチックな刻をとらえた秀作です。手前の島のシルエットを生かし力強い写真になりました。朝日に光る山波のラインが美しい。

○特選 (京都新聞社賞) 「光の中で」 西岡 信夫
光のとらえ方の絶妙な作品です。空気感も伝わってきます。発色もよく切取り方もよかった。作者のカメラアイが光る。

○特選 (草津商工会議所会頭賞) 「黄金の海」 寺田 吉廣
ユリカモメを大きく写し込んで、迫力のある画面になりました。黄金に輝く時間帯をダイナミックにとらえた力強い作品です。シャッターチャンスを生かした作品です。

○特選 (BBC びわ湖放送賞) 「宵宮」 山本 照夫
お祭りの御輿が勢ぞろいした中で、真ん中の御輿がゆれている。面白い表現で作者の狙いが伝わる作品となった。手前の人物の写り込みも祭りのにぎやかさが感じられる秀作です。

○特選（NHK 大津放送局長賞）

「寒い日」

森 保

ストーブで暖まる様子を上手くまとめました。縦位置で撮った事が良かった。良い発見でプリントも良く、確かな技術力を感じます。

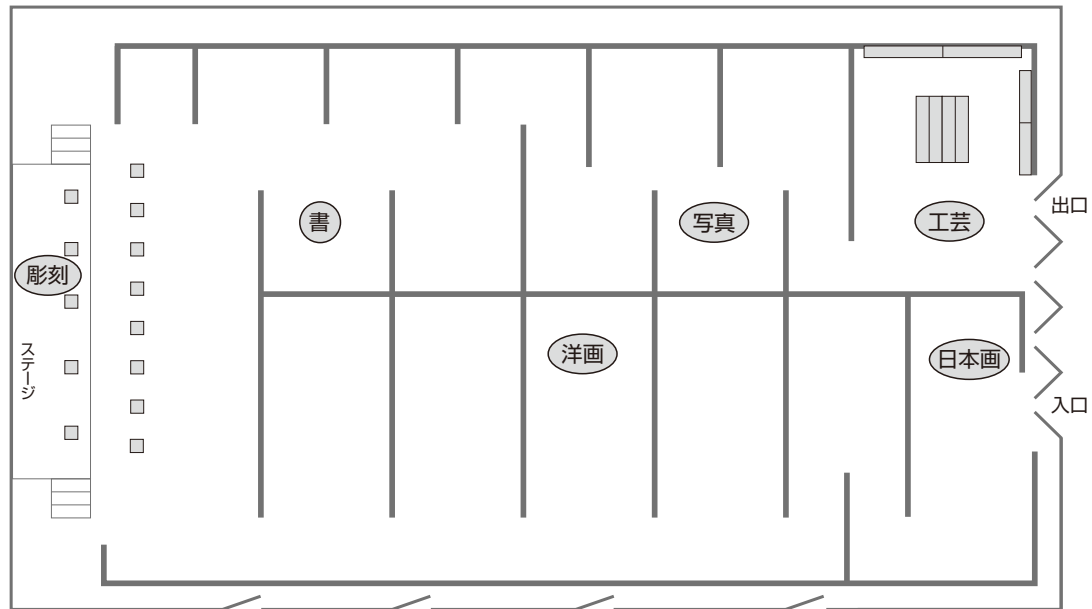
○特選（草津市国際交流協会会長賞）

「Broken window」

北垣 節子

割れた窓ガラスをアート風に切取った現代風の作品になりました。色合いも良く強く惹きつける写真になりました。良い発見と見事な構成力が光る作品となりました。

会場案内図



草津市民憲章

私たち草津市民は

- 一、古い歴史にとけあった新しい文化をつくり、
住みよいまちをきずくためにあたたかい心を持
ちあって、ともにあすへの歩みを進めましょう。
- 一、豊かな生産に努めましょう。
- 一、高い教養を伸ばしましょう。
- 一、明るい環境を整えましょう。
- 一、良い風習を育てましょう。